

宇部港湾・空港整備事務所からのお知らせです

山口大学の学生を対象に「みなと現場見学会」を開催しました

山口大学講義で「みなと現場見学会」を開催（10月27日）

山口大学工学部社会建設工学科3年生を対象に、宇部港湾・空港整備事務所長が、非常勤講師として港湾工学特別講義を行っています。

今回は講義の一環として、77名の学生が、午前中に座学を受け、午後から徳山下松港の工事現場（ジャケット式栈橋）を見学しました。



山口大学卒業の若手職員より

- ・整備局（港湾空港）を選んだ理由
 - ・実際にどんな業務を行っているのか？
 - ・休日の過ごし方
- などお話しいただきました。

～未来の技術者がみなとの現場を体感！～

現場見学



日本最大の旋回式起重機船

日本最大級のジャケット式栈橋

「ジャケット式栈橋」ってなに？



基礎杭に、鋼管で組み立てた立体トラスを被せた栈橋。人が上着を「羽織る」ことを連想させるので「ジャケット」と言われている。

港湾の工事現場を実際に見学することにより、港湾工事のスケールの大きさを体感し、港湾の役割・重要性の理解を深めていただきました。



360°カメラで撮影したジャケット据付の映像を見てスケールの大きさを体感